

日本初戦を快勝

アイスホッケー
女子五輪最終予選

小野が1得点

と、徐々に持ち味が出てきた。
第1ピリオド、残り3分を切つてのパワープレー。

好機に慌てず相手守備を速いパスワークで崩し、久保が先制点。追い付かれても流れは渡さない。第2ピリオドでは、ゴール前で「ぼれたパック」を小池が押し込んで勝ち越した。大沢主将は「スピードを生かして、チームに流れが出てきた」。

されたパックを小池が押し込んで勝ち越した。大沢主将は「スピードを生かして、チームに流れが出てきた」。

△・久保がFWの役割をオドの17分すぎ、ゴール前でうまくステイックを合わせ、味方のシートの方向を変える技ありの先制点。

これで勢いに乗り、計3得点を奪った。

【苫小牧】アイスホッケー

女子五輪最終予選

小野が1得点

1女子の平昌五輪最終予選
D組は9日、苫小牧市の白鳥王子アイスアリーナで始まつた。2大会連続3度目の五輪出場を目指す日本

小野紗子、GK近藤真衣がメンバー入りしており、この試合で小野は第3P3分に貴重な追加点となる4点目を決めた。

もう1試合のドイツ（同8位）と対戦。久保英恵（西武）のハットトリックとなる3ゴールなどで日本が6ー1と快勝し、勝ち点3を獲得した。

速いバス、運動量で圧倒

日本は第1ピリオド（P）に久保が先制点。追い付かれた後、第2Pで小池詩織（道路建設）、久保が連続得点を挙げ、リードを広げた。体格で上回るオーストラリアは硬さが見られた。体格で上回るオース



オーストリア戦の第3ピリオド、ゴールを決めて喜ぶ久保（中央左）ら＝9日、白鳥王子アイスアリーナ

5戦全敗に終わったソチ五輪。日本が悔しさを出発した成長ぶりを示した。対抗策は山中監督が目標に掲げてチームを鼓舞する山中監督は、立ち上がりに注文を付けながらも「中盤からは速攻の形が出て、人もパックも動くようになつた。我慢強くいた」と満足そう。

大沢主将が3年前と比べ、「選手で変えていけるチームになつた」と話す通り、日本が上々のスタートを切つた。

△・久保がFWの役割をオードの17分すぎ、ゴール前でうまくステイックを合わせ、味方のシートの方向を変える技ありの先制点。

これで勢いに乗り、計3得点を奪った。

ド イ ツ	3	1 G O W O S O O	1 延 長 1 1 0 1	1 0 1	2 フ ラ ン ス	1 勝 点 1
1 W O S O O	2	1 G O W O S O O	1 延 長 1 1 0 1	1 0 1	1 G O W O S O O	1 勝 点 1